

大好きな「音」を仕事に：音声音響の企業研究者という道

荒木章子（日本電信電話株式会社 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員）

仕事の内容とやりがい

音声音響研究は、伝統ある分野である一方で、半導体技術やコンピュータの発達、そして時代の要請により、次々と新しい技術を創出できる可能性を秘めた、とても刺激的な分野だと思います。また、音研究のベースの幅広さも魅力で、物理量としての音を扱う物理学・統計学などから、聞こえや聴感を扱う解剖学・心理学などまで関連するので、広く知識を吸収したり、色々な専門の研究者と議論できることが楽しいです。企業人としては、関連企業や一般のお客様へ音技術の意義と本質を伝える時に、その重要性和やりがいを強く感じます。

仕事と生活のバランス

私の場合は主人も研究者で、私の仕事に理解があるためかとても協力的です。家事は必要十分なことを見極めてこなし、家族の時間を大事にする生活を心がけています。仕事とのオンオフをつけたいこともあり、家では仕事や研究の話はほとんどしないですね。また趣味として小学校の頃から吹奏楽をしており、現在もNTTの吹奏楽団に所属しています。この練習や運営にも時間が割かれますが、仕事や家庭と同じで、自分の役割を無理のない範囲で責任を持ってこなすことで、充実の時間を過ごしています。

進路決定のきっかけ

小さいころから音楽が好きで、和音の各音を当てられたり、音楽を聴いて感動できたりする自分、そしてひとの聞こえに興味をもっていました。これが私のベースで、大学選びの時には、数学が苦手では無理という高校の先生の指導を振り切り、音響工学や聴覚に関する研究を行なっている大学・学部を狙って受験しました。修士課程では耳の仕組みを模擬した音響センサの研究に取り組むことができ、受験で自分を貫いてよかったと思ったものです。就職でも音の研究で実績のある企業を志望し、幸運なことに音声関連の基礎研究担当者として10年以上仕事をさせてもらっています。

進路選択についてのメッセージ

進路を考えるときには、あふれる情報や周囲の助言で混乱してしまう時もあると思います。こんな時私は、自分の関心＝夢を広げその実現に近づける方向へ、情報や助言を受け止め直すようにしてきました。また自分の可能性に、自分で限界を設けないでほしいです。例えば、今現在理系科目（私の場合は数学…）が苦手だからと、理系の夢を捨ててしまうことは本当にもったいないです。一念、岩をも通す。努力を惜みず、一人称で楽しく考えて欲しいと思います。

＜荒木章子（あらきしょうこ）プロフィール＞

富山県立富山中部高等学校→東京大学理科二類→進学振分けにて東京大学工学部計数工学科→東京大学大学院工学系研究科計数工学専攻（修士課程）→NTT入社、NTTコミュニケーション科学基礎研究所。音声音響処理、特に混合音から所望の音声を抽出する音声強調の研究に従事。在職しながら北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程（社会人）進学＜博士（情報科学）取得＞。現在に至る。

